

待乳山便り

節分会豆まき大法要 報告



二月三日、節分会が

執り行われました。

午後三時、年男と浅草

寺一山住職の皆様が本

堂に入り、平田住職導

師のもと、般若心経の

読誦が始まりました。

般若心経が繰り返し

お称えされる中、約二

十名の年男たちの豆撒

きが始まり、境内の各

所で参拝者に向かって福豆や福餅、お菓子をまき、福を授かった方から大きな歓声があがりました。

年男御芳名（敬称略）

谷川智典 細川好太郎

西川晃敏 福田廣光

橋本和夫 瀧政崇

神崎義己 岩崎顕悟

山形公二 飯塚実

酒井喜生 上嶋聖人

柴田達之 田中剛毅

中村和郎 小泉保彦

木下憂太加 鶴澤秀臣



三月御縁日大法要 行事紹介

稲荷祭大法要

三月四日(水)午前十一時

講金 一、五〇〇円

法号 なむまつちやまいなりだいようじん 南無待乳山稲荷大明神

旧暦初午の日に稲荷祭を執行し、ご参詣の皆様の開運、家内安全、商売繁盛を祈念いたします。

当山の稲荷社は、昭和十七年、当時の住職が夢のお告げを得て現在地に遍座いたしました。

豊川稲荷の流れを汲み、当山の守護神としていらつしやいます。

講に申し込まれた方には、待乳山稲荷尊の開運守

を頒布いたします。根付け

付きの木札です。皆様揃っ

てご参加くださいませ。

法要終了後には、広間に

て「歓喜天と稲荷明神」に

ついての法話がございます。

三月二十日(水) 午前十一時 講金一、五〇〇円
三月二十日に婦人講を執行いたします。
婦人講は大正元年頃「宮繕婦人講」として発足いたしました。ご婦人が中心となって本堂の修繕のため講員を募集しております。

婦人講



着手直前に関東大震

災に見舞われ、その講金

は積み立てられ、その後

戦災で消失した本堂復

興の基金として充たさ

れました。

以降も多くの仏具や

境内整備の寄進に貢献

してまいりました。

お申込みされた方に

は家内安全と身体健全

の祈願いたしましたお守りとお供物をお授けいたし

ます。

女性に限らず男性の方のお申し込みも受付して

ります。

法要終了後には、大広間に於いて、細井孝尚師に

よる「鶏寒 上樹鴨寒 下水」についての法話

がございます。

安全講祈禱会 受付のご案内

四月十九日(日) 午前十一時

用紙にご氏名とご希望のお守りの項目を丸で囲

み、寺務所にて受付ください。

講金 一、五〇〇円 (一鉢増毎五〇〇円)

送料は十鉢毎に二〇〇円

朝まいる会七十周年記念事業

「奉納受付」のご案内

昭和二十五年に発足した朝まいる会は今年で七十周年を迎えます。

当院では、朝まいる会七十周年を記念し、併せて朝まいる会が今後ますます長きにわたって栄えることを祈念し、3つの記念事業を計画しております。

・記念法要

令和二年六月七日(日) 午前九時より

・記念モノメント(浮世絵パネル)

記念法要後、除幕式執行

・記念冊子発行

つきまして、朝まいる会会員の皆様にご奉納を募らせていただきます。

ご賛同の程よろしくお願い申し上げます。

【奉納金】 一口二千円

【募集期間】 三月一日〜五月二十日



高岡京子様、荻原昭二様より白木の三宝をご奉納いただきました。

小野寺友子様よりおみくじの解説本をご奉納いただきました。



「真言」④

二月三日に行われた節分会でお称えしたご真言についての「質問が多く寄せられましたので、一覧と内容をご紹介します。」

大日如来

仏眼仏母

歡喜天

十一面観音

毘沙門天

三宝荒神

三部惣呪

諸天惣呪

日天

月天

星辰

アヒラウケンケンバサラダトバン

オンボダロシヤソワカ

オンキリギヤクウンソワカ

オンマカキヤロモヤソワカ

オンベイシラマヤソワカ

オンケンバヤケンバソワカ

オンアサバソワカ

オンロキヤロキヤカラソワカ

オンアニチヤソワカ

オンセンダラソワカ

オンコダヤソワカ

南無歳徳神

南無當年星本命元辰

一字金輪仏頂

ボロン

節分はもともと現在の十二月に行われる除夜の作法であり、また星占いの元となった宿曜経の教えに基づいている説もあり、星に関わる「真言」が多くなっております。

前日もご紹介した諸天惣呪は護方の神として八方に上下を入れた十天に日天、月天を加えてすべての方角にいる天部の仏様を代表しております。

日天、月天は太陽、月を神格化したもので、二十八宿、七曜にもそれぞれ含まれております。

本堂内陣の左右にも月と太陽が描かれております。



また、月天のご真言は、毎年秋に行われる待乳山お月見の会の法要でもお称えいたします。

星辰とは星座を意味します。仏教では、北極星や北斗七星を神格化しております。

次に歳徳神のご宝号をお称えしますが、歳徳神とはその年の福德を司る神様で、歳徳神のいらつしやる方角を「恵方」と言い、縁起の良い方角とされております。

「恵方」はその年の干支によって変わり、今年は西南西となっております。

南無當年星本命元辰は宿曜経に説かれる「當年星」「本命星」「元辰星」を供養するご宝号です。

「當年星」はそれぞれの数え年に応じて決められる星で、その年の吉凶が決まります。

「本命星」「元辰星」は生まれた年で決まる北斗七星で、本命星は寿命などを司る守護星、元辰星は後天的な運命や福德を司る星で、それぞれ一生変わることはありません。



NO.

いちよう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草 7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

末代澆季相應の尊天

住職 平田真純

待乳山発行の経本「大聖歡喜天禮拜作法」の冒頭に「待乳山聖天宮略縁起」が記載されておりますが、その最後の方に「…諸神諸佛の捨て給う求願も一心に信ずるものは直ちに成就せしめんはこの天の誓願なり洵に末代澆季相應の尊天と申し奉るべく豈信仰せざるべけんや。」とあります。

「澆季」という難しい言葉が出てまいります。『広辞苑』によれば、「澆」とは軽薄、「季」とは末の意味で、道徳が衰え人情の軽薄になった時代とあります。仏教的に言えば「末世」とか「末法の時代」ということとなります。つまり「末代澆季相應の尊天」とは、末法の世にもふさわしい尊天様という意味になります。仏教における時代観のひとつとして、「正法・像法・末法」という区分があります。

正法Ⅱお釈迦様滅後（仏滅後）、仏の教え、修行、悟りが生きている時代。

像法Ⅱ仏の教えと修行は形式的に残るが、本当の悟りが示されない時代。

末法Ⅱ仏法が衰退する時代。

正法・像法・末法の具体的な年数区分はいろいろと説かれてきましたが、日本では平安時代以降、疫病の流行や政治的動き、仏教界の変質などの社会不安から、像法の時代が終わり、末法が近づいているという思想が広まりました。その後の仏教界では、末法への危機感から、新しい潮流なども多々生まれ、正法を常に模索しながら現在に至っています。

興隆時の生気に満ちた勢いは、やがて形式に流れるようになり、ついに衰退していくというのは、ある意味、世の常ではありますが、そこを克服して生き残る要は、より正しい状態を模索・実行する修正力であると思います。反省と向上心が礎でありましょう。

考えてみれば、私たち個人も深い苦しみを抱えていたり、世のむなしさを感じたりすると、個人的には末世的な感覚に陥ってしまうかもしれせん。

欲に支配されたこの濁世にあつて、諸願の成就というご利益を通して正法へ導いてくださるのが聖天（尊天）様の御本誓でありましょう。「末代澆季相應の尊天」とは、欲や迷いで動き、真実の見えない私たちを救い、さらに反省と向上心を促していただける尊天であることを表しているのではないのでしょうか。

二月行事予定

御縁日大法要

稻荷祭

三月四日(水)

午前十一時

講金 一、五〇〇円也

旧暦の初午の日に、各家の除災招福、家内安全、商売繁盛をお祈りいたします。

婦人講大法要

三月二十日(金)

午前十一時

講金 一、五〇〇円也

当山の興隆に貢献されてきた伝統ある講です。皆様の家内安全、身体健全を祈願いたします。

朝まいり会

三月一日〜七日

午前八時から八時半

会費 五〇〇円也

都合のよい日に、ご参加くださっても結構です。最終日には、読誦終了後に食事作法を行います。

日曜勤行

三月八日(日)

午前九時

参加費 無料

初心の方も気軽にご参加いただけるおつとめの会です。

写経の会

三月八日(日)

午前十時/午後一時

会費 五〇〇円也

心を落ち着かせて写経することで、日常を離れ、自分を見つめ直しましょう。

午後の部は人が少ないため、落ち着いて写経が行えます。

坐禅の会

三月二十八日(土)

午後五時〜七時

定員三十名 参加費 五〇〇円也

本堂にて坐禅を行います。定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。

合同大般若法要

三月二十五日(水)

午前十一時

法要料 五、〇〇〇円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんとご一緒にお上げする御礼の法要です。

四月の行事

御縁日大法要

安全講祈祷会

四月十九日(日)

午前十一時

講金 一、五〇〇円也 (一鉢増毎五百円)

ご祈祷のご案内

祈祷料

聖天様独特の供養法である

別座祈祷 壱万円(一週間)

浴油供は、密教の中で最も

浴油祈祷 三千五百円(二週間)

深秘の法とされています。こ

華水供 五百円(一日)

の供養法は聖天様のお力が

法要案内

より一層高められ、私どもが

不可能と思われるような願

当山では予約にて法要を行

い事でも、尊天様の不思議方

つております。寺務所にてお

便のお働きを得て、必ず成就

問い合わせください。

させて頂けるのであります。

百味供養 法要料 八万円

当山ではこの浴油祈祷を、

沢山のお供物をお供えし、

毎朝開堂と同時に厳修して

出仕の僧侶が声明をお唱えす

おります。寺務所にて受け付

ること、尊天さまに御礼の

けておりますので、お名前と

供養をいたします。

お願いの内容、祈祷期間をお

大般若法要 法要料 五万円

伝え下さい。

所願成就御礼の法要とし

またご遠方の方やお急ぎ

て、大般若経六百巻を転読い

の方は、お電話やお手紙でも

たします。

受け付けております。どうぞ

自動車加持 法要料 壱万円

お申込みください。

当院にてお車のお加持をいた

す。

当日はお車にてお越

しく下さい。

皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。ご意見やご質問は ityou@matsuchiyama.jp までメールをお送りください。